

みのじ おこしじゆく みなとや
美濃路・起宿と湊屋

起宿は美濃路の宿場町として、また木曾川という重要な物流の拠点として栄えた町です。

江戸時代から昭和はじめごろまで、木曾川は、この地方の重要な交通路で、名古屋や桑名からは醤油、油、瀬戸物、雑貨、肥料などが、上流の山地からは薪炭などが起の湊に荷揚げされました。河戸周辺には問屋がたち並び、これらの商品を仲だちしました。

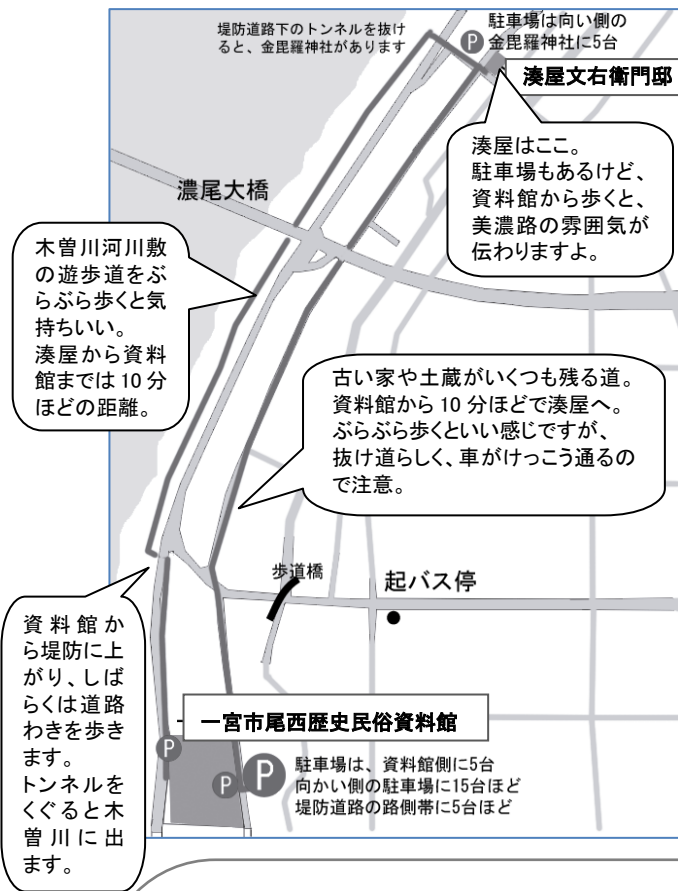
湊屋の建物は、この美濃路・起宿でこうした舟による商売をしていた湊屋文右衛門の屋敷です。明治24年におきた濃尾地震の折、近隣の家々が軒並み崩れ落ちた中で無事残っていた建物です。現在は丹羽家の持ち物となっていますが、空き家になっており、今後の活用を野の花の大島八重子さんを会長とした湊屋倶楽部で検討しているところです。現在、国の登録有形文化財にも申請中です。

今回は、大島八重子さん提供のお茶とお菓子をいただきながら、この湊屋の建物や起宿、美濃路について、一宮尾西歴史民俗資料館の学芸員でいらっしゃる神田年浩さんよりお話をうかがいたいと思います。

美濃路とは、東海道・宮宿(熱田)から名古屋、清須、稲葉、萩原、起、墨俣、大垣の7宿を経て中山道・垂井宿に至る約60kmの脇往還(脇街道)です。

鈴鹿越えや七里の渡しの難所を避けられるため、参勤交代の西国大名をはじめ、将軍上洛や朝鮮通信使などに利用されていました。八代将軍吉宗の時代には、ベトナムからやってきた象が、長崎から江戸まで旅をした折に、木曾川を渡り、この起に泊ったというおもしろい話もあります。

美濃路の木曾川の渡し舟である「起の渡し」は、昭和31年(1956)「濃尾大橋」の開通により、廃止となりました。現在は一宮市西中野と岐阜県羽島市を結ぶ中野の渡し(愛知県営西中野渡船場)が残っているだけですが、県道として無料で渡してもらうことができます。



◆いちのみや大学講座「美濃路・起宿と湊屋」

- 日時: 5月15日(土)午後1:30~3:30
- 場所: 旧湊屋文右衛門邸(丹羽邸) 駐車場金毘羅神社に5台
一宮市尾西歴史民俗資料館の駐車場から徒歩約10分なので、できればそこに車を置いて歩いてください。(駐車場20台ぐらい)
一宮市尾西歴史民俗資料館
愛知県一宮市起字下町211 TEL(0586)62-9711
公共交通機関 名鉄バス起停にて下車、北へ徒歩約10分

- 会費: 1000円(お茶とお菓子付き) ・定員: 30名
- 申し込み: ホームページから <http://ichinomiyadaigaku.com/>
インターネットをご利用でない方は、メールまたは、電話・FAX(0586-72-5445)でも受け付けます。(電話は平日の10:00~17:00)
申し込み締切りは開催日前日まで。キャンセルの場合も前日までをお願いします。

※お問い合わせは、(有)人の森気付け いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445
メール: info@ichinomiyadaigaku.com までお願いします。



いちのみや大学

検索

いちのみや大学ってどんなもの？

◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくらうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。

一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。

人口も38万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。

そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。

いちのみや大学はどなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

◆参加方法

① いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiya-daigaku.com/> からの申し込み

学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。

② インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合

電話/fax 0586-72-5445(平日 10時から17時)

メール info@ichinomiya-daigaku.com などでも受付しています。

※受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報をご確認ください。

◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)
西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色(会場:スポ文)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場(会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)
- ・歴史学部 江戸時代の一宮の村社会(会場:スポ文)
のこぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策(会場:葛利毛織)
妙興寺を体感する(会場:妙興寺)

◆これからの講座

- ・歴史学部 2010/5/15(土)p.m. 13:30～ 美濃路・起宿と湊屋
5/30(土)p.m. 15:30～ 後藤泰洋&大島誠二 現代アートを語る

◆いちのみや大学のちらしを置かせてもらっている所

織部亭、野の花、さかな、市役所、木曾川庁舎、尾西庁舎、ちゃらん家(本町)、市民活動支援センター等



「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局 (有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4 ~~アートメゾン~~ 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiya-daigaku.com